

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月1日

事業所名 福山東児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	27	1	個別ブースをパーティション等を使い確保できるようにしている。	
	2	職員の配置数は適切である	24	4	他クラスと連携し人が足りない時はサポートし合っている。	適切であるが、幼いクラスに職員を増やして欲しいと感じることがある。 ・クラスの年齢・障害の特性等に配慮した職員配置をする。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	28	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	28	0	机や椅子など、消毒するようにしている。 週の終わりに消毒作業を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	26	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	27	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	25	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	22	2	保護者の方にも見てもらえるように張り出している。 自己評価の結果に必ず目を通し、職員会議などで話し合うようにしている。	会議で話したこと等実施できるものはすぐに取り入れるようにする。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	28	0		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	27	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	24	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	25	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	28	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	28	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	28	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	28	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	27	1		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	22	6	その日にできなかった場合は必ず次の朝に行うようにしている。 療育終了ではなくその場で共有するようにしている。	休みの職員にはクラスノートに変更点などを書いたものを確認し情報の共有をしていく。 空き時間にその日にあった出来事を共有する。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	28	0		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	27	1			
関係機関	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	25	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	25	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	20	2		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
や保護者との連携関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	20	2		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	26	1		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	27	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	25	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	21	コロナ禍で難しいため実施できていない。難しいこともあるが散歩に行き挨拶をする活動は取り入れている。	難しいが、何か出来れば良いと思う。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	18	6		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	28	0		
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	19	6	保護者からの要望があれば個別の面談を設けている。連絡帳を通して日々の様子を伝えたり相談にのっている。	今年度は嘱託医による講話会を実施したが、就学の向けての話や社会人事業所等の話を聞く機会やオンライン(又はホームページ)での遊びや歌などの発信を行う。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	27	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	28	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	25	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	24	2		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	28	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	26	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	28	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	26	0	日本語が不慣れな保護者には英語の用紙を特別に作りとても配慮が出来ていると思う。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	19	コロナのため交流は難しい。ポニー乗馬やその他の動物との触れ合いなど、普段経験できないことを行った。	なかなか難しいと思うが何か出来れば良いと思う。招待することは難しいが地域のとんどに参加できた。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	26	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	28	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	27	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	28	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	28	0		誰でも見られる所にあると、時間がある時に確認でき、共有できると思う。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	27	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	23	1		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和4年3月1日

事業所名：福山東児童発達支援センター

保護者等数(児童数) 48 回収数 39 割合 81%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	42	7	0	1	コロナで教室での様子を見ることはありませんでしたが、十分だと思います。教室も広くて活動するには十分なスペースだと思います。個人的には、十分だと思います。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	39	6	1	4	教室での様子を見る事が出来ていないため、分かりません。配置数は十分、専門性は適切であると信じています。配置数は確保されていて安心、専門性は分かりません。先生全員で子どもの性格を理解し、アプローチしていると思います。	子どもの様子を職員間で共有しクールダウンできる場所の工夫をし一人にならないように見える場所での見守りをしていきます。毎月実施している職員研修を通して専門知識をひろげていけるように取り組んでいきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	44	2	0	4	おもちゃや自分の持ち物を上手に片付けられています。鍵付きの柵、段差がない、教室が一階だったり配慮されています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	46	3	0	1	とてもキレイで、心地よさそうです。子どもがセンターに行きたい、楽しいと言っているのが良いのだと思います。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	47	3	0	0	しっかりと判断出来ていると思います。保護者の意見を聞いた上で、本人にあった内容になっています。色々な視点からの課題や達成度を教えて頂き、家庭でも取り組んでいきたいです。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	44	1	0	5	アドバイスと共に支援内容が的確でこちらが気づくことが多いです。すぐく伸びる頃でもあり、もう少し面談を増やして欲しいです。(月一程度)現在の達成度や目標等に対し、無理せず大人と一緒にトライしてみたり、将来を見据えた目標を考慮されていて、日々成長を感じています。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	49	1	0	0	目標に向かって、試行錯誤されています。計画に沿って支援していると思います。	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	47	0	0	3	子どもの特徴を理解して取り組んでると思います。日々様々な活動に「目標」を持っていることに感謝しています。1ヶ月スケジュールを組んであり、見通しがつくようになって良いと思います。行事一貫で、家での問いかけに、いつも「楽しかった」という声が聞かれています。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	8	21	19	コロナ禍なので、よく分かりません。ないと思います。コロナもあり、ないと思う。落ち着いたら、交流の機会があるといいと思います。今後、増えると嬉しいです。	公園などの活動で交流を持つときなどは園だよりなどで保護者へもお知らせする機会を設けていきます。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	43	5	1	1	十分ではないと思います。分かりやすく説明していただいたと思います。	毎年3月に説明会を行っています。その時に理解しやすい内容、方法で伝えていけるように努めています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	44	4	0	2	適切な支援内容の説明があった。ねらいや支援内容も本人にあっていると思います。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	28	9	6	7	先生からアドバイスをいただくことはあります。コロナもあり、講話等の機会が難しいので、機会があればいいと思います。コロナ禍で、先生と話す機会が少なくなってしまう残念です。	コロナのため集まる機会を控えていました。今年度は嘱託医の講話会等を行いました。保護者の方のニーズに応えられる講話会を行い学べる機会をつくっていきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	43	5	1	1	毎日こまめに状況・状態を伝えて頂いています。知らなかったことを、先生から聞くこともあります。直接会うか会わないかでボリュームが違うと思います。(自主送迎・バス利用の親とでは、得られる情報に大きな差がある。)	必要に応じて電話連絡をするようにしていきます。行事や面談などを通してお子様の姿を保護者の方と共有していきます。
保護者 への 説明等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	41	6	3	0	何度か面談もあり、助言や支援、どうしたら良いかなど教えてもらっています。よく電話をいただいて話しています。	年2回は保護者面談をさせて頂いております。それ以外の時の相談は随時行わせていただくようにしており、これからも努めています。バスを利用していく方には電話での対応を増やしていく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	36	11	0	3	コロナで大変な中、色々考えてやってくさっていると思います。コロナの中、何度か茶話会をしていただいた。もう少し回数が増えるといいです。	コロナ禍で難しい部分もあったがズームやラインの活用をしていきオンラインでも保護者同士が繋がるような機会を増やしていきます。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	43	5	0	2	トラブルがあった際も、迅速に対応し対策もとっていただきました。先生によってバラつきがあるのかなと思います。困っていることに対し、助言や適切な対応をしてくれています。連絡帳に記入した内容についてよく対応してくれています。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	45	2	0	3	詳しいことは電話で、その他のことは連絡帳で共有できています。手紙の入れ忘れは、改善点だと思います。	

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	38	4	1	7	行事の時だけでなく、日常の生活の様子が見える参観があると良いと思います。	コロナが落ち着けば参観の機会を増やします。HPに載せていることをお便りなどで伝えていきます。今年度はオンラインでセンターの様子を配信をしました。今後も状況に合わせてオンラインを活用していきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	47	1	1	1	きちんと管理して注意していると思います。すぐく気をつかわれていると思います。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	46	1	0	3	他の園では園児だけの訓練であり、親は参加できなかったが、実際に説明も分かりやすく、行動しやすかったです。毎月、津波や火災などの色々な災害を想定して訓練してて良いと思います。コロナ等のマニュアルも作ってくださって分かりやすいと思います。説明もされている。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	50	0	0	0	日頃から訓練を行うことで、いざというときに慌てずに対応できるので、親も参加できて良かったです。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	42	7	1	0	毎日の通園をととても楽しみにしており、休日も行きたがる様あり。朝が楽しそうです。自分が苦手な活動は、嫌な時もあるようです。毎日嫌がらず楽しそうに通ってくれているので、こちらも嬉しいです。家で遊びたい気持ちが強い日もありますが、概ね楽しく通っています。	
	23	事業所の支援に満足しているか	42	7	1	0	日々の様子やトラブルの際も、迅速に対応していただき大満足です。言語訓練を取り入れてほしいと思います。先生方、職員の皆さんに色々支援や助言等をいただいています。ほぼ満足しています。一部、…な所はあるが、その都度対応してもらっているので良いと思います。	保護者の方の悩みや思いに寄り添い、家庭とセンターが同じ方向性でお子さんの支援ができるように努めていきます。

*1 この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。